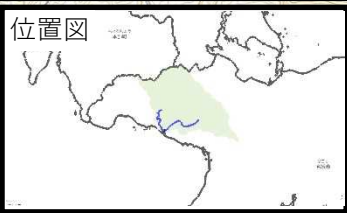


○屋部川及び西屋部川流域は、小中学校等の教育施設、病院及び福祉施設、各種行政施設など多くの都市施設があり、沖縄本島北部地域の主要な都市基盤が集積する地域である。平成19年8月の豪雨においては、名護市為又地区で大型店舗兼アパートの床下浸水や道路冠水等の被害が発生するなど浸水被害が発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策に取り組み、浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・護岸整備、流路工整備、砂防堰堤整備、河道掘削、橋梁架替【県・名護市】
 - ・適宜浚渫【名護市】
 - ・開発行為に伴う流出抑制対策【開発事業者】

- 被害対象を減少させるための対策
 - ・下水道の排水施設整備【名護市】

- 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
 - ・水位計、河川監視カメラ整備【県】
 - ・高潮浸水想定区域の指定【県】
 - ・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信【県・名護市】

凡例

- ◀▶ 県管理区間
- 護岸整備、河道掘削、橋梁架替、浚渫
- 流域
- ▲ 砂防堰堤



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

○屋部川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備、流路工整備、砂防堰堤整備、河道掘削、橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、水位計、河川監視カメラの整備、防災メール及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、流路工整備、砂防堰堤整備、河道掘削、橋梁架替、適宜浚渫	県 名護市			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害対象を減少させるための対策	・下水道の排水施設整備	名護市			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・水位計、河川監視カメラの整備 ・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県 名護市			

屋部川水系
流域治水プロジェクト

【凡例】

破線：事業中、取組中
 実線：維持管理、フォローアップ等

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ